

子供に対して

お子さんに“◎◎(子供の名)、お父さんとお母さんの所に生まれてきてくれてありがとう。お父さんもお母さんも、とっても嬉しいよ！”となるべく沢山たくさん言って上げましょう。
5 その他に、何かにつけて“ありがとう”“いつもありがとう！”を沢山たくさん言いましょ。お子さんは、お父さんお母さんが大好きになって、とても良い子に育ってくれます。

★ 上記の言葉は、赤ちゃんの夜泣きや抱き癖の特効薬になります。

- 10 ★ お父さん、お母さんかあの意味は、お父さん ⇒ 丁寧語の“お”“十”“さん”で、“十” ⇒ “十” ⇒ “神”じゅう ですから、尊敬して、“家で一番上の人”として尊敬して呼んでいるのです。
- 15 ※ 火（縦の働き | ）《か》と、水（横の働き — ）《み》を組み合わせて（十）じゅう《かみ》となります。十は、神を表す数字なのです。
（これは、あくまで人間が考えた表現です。火は縦に燃えて、水は横に広がる性質がありますが、これは、空気や重力のある地球上だけで起こる現象です。）

- 20 お母さん ⇒ 丁寧語の“お”“母”“さん”で、“母” ⇒ “かあ” ⇒ “家の天の神”てん ⇒ “子供を産み育て、何でも出来る万能者”として尊敬して呼んでいるのです。

★ お父さん、お母さんの代わりに“パパ”“ママ”と呼ばせている家庭が多いですが、この言葉には両親を尊敬する意味がありません。

- 25 “パパ”の語源は、タバコの煙をパッパッと出している人であり、“ママ”は、Manna ⇒ マンナ ⇒ マナ ⇒ 食べ物 ⇒ 食事を作る人の意味なのです。この為に、“パパ”“ママ”と呼ばせている家庭では、子供は両親を尊敬しません。

★ “おやじ”、“おふくろ”は、見下げた呼び方ですから、使わないようにしましょう。

- 30 自分の意思で子供を作らなかった夫婦は…
『神』から与えられた、人としての義務(使命)を果たさなかった罪になります。

子供が欲しくても出来なかった夫婦は…

- 35 夫婦共に、自分の持つカルマによる霊障ひょうらいです。（主に前世のカルマが原因です）
本人が猛反省して、『神』と憑霊ひょうらいにお詫びすることによって解決できます。

★ 神が与えて下さる幸福の条件の一つに、“男と女の子に恵まれる事”と有りますが、それは陰陽のバランスを保つ事が大切だという事なのです。

- 40 男→陽 女→陰